

原子力対策特別委員会視察研修

(平成19年11月5日～6日)

視察研修先

柏崎市・刈羽村

新潟県中越沖地震による被災状況調査の為に柏崎市・刈羽村を訪れて、原子力発電所と、市内の被災状況を視察した。



柏崎市役所



柏崎刈羽原子力発電所4号機



市内道路被災地

原発立地議会

中越沖地震柏崎刈羽原発・災害対策緊急大会

(平成19年11月21～22日)

開催地

新潟県柏崎市

7月16日の中越沖地震により、東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所がマグニチュード6.8、震度6強の揺れに襲われ、発電所の設計加速度を上回る震度を記録し被害を受けたもので、現在までの状況を東電より説明を受け、国への決議文を採択した。

2日目は、柏崎刈羽原子力発電所の被害状況の視察を行なった。一般市民の被害も大きく、市内各所、仮設住宅の状況も合わせて視察した。



柏崎市産業文化会館

議員視察研修

(平成19年11月17日～18日)

視察研修先

長野県高森町

高森町制施行50周年記念ふるさと祭り視察及び町議会議員・町三役との交流を行った。
高森町とは、去る9月24日友好都市提携の調印式が行われ、ふるさと祭りには、御前崎市からも特産物の販売や試食、交流事業の紹介、またコーラスやダンス等のステージ発表で花を添えた。

原子力公開講演会

(平成19年12月6日)

会場 男女共同参画センター「あざれあ」

演題 「柏崎刈羽原発、

褒めるべき点、反省すべき点」

講師 大前研一氏(経営コンサルタント)

新潟県中越沖地震における東京電力柏崎刈羽原子力発電所の事象を踏まえ、有識者の視点から見た災害や原子力発電所の安全性の評価とあるべき対策について公開講演会が行われた。